

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立松山商業高等学校
学校番号(25)

評価実施日	令和6年2月22日(木)		
委員	氏名	所属等	備考
	金井マキ	旭町自治会役員	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	橘川智恵	松山市教育支援センター教育指導員	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	藤島寛昌	ロープウェー商店街「ギャラリー絵夢」社長	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	佐伯美紀	主婦	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	田村有希	在宅介護複合施設康復センター星岡施設長	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	山内孔	松山市立東中学校長	学校関係者評価委員
	中川一也	全日制PTA会長	学校関係者評価委員
	早瀬順子	全日制PTA副会長	学校関係者評価委員
	塚本強	定時制PTA会長	学校関係者評価委員

全日制

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none">・皆勤率、年間出席率が、昨年度に比べて低下している。原因を把握し、対策が必要である。・「授業の内容がよく分かる」、「授業の進み方は適切である」、「授業内容に興味関心が持てるように、指導法が工夫されている」項目の生徒評価が、昨年度に比べて高く表れている。 <p>(2) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none">・県内企業への就職率の高さから、地域のことを理解し地域社会の発展に貢献するという考えの生徒が育成できている。 <p>(3) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none">・校則を守っている生徒が多いと回答している教職員の割合が、昨年度に比べて下がっている。・生徒の安全を守るためヘルメット着用率は、100%を達成しないといけない。生徒にヘルメット着用の意義を繰り返し伝え、継続した指導が必要である。・清掃時に活動している生徒が多いと回答している教職員の割合が、昨年度に比べて下がっている。 <p>(4) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none">・図書館はよく整備されているが、よく利用している生徒の割合が低い。図書館利用の推進が必要である。・地域交流活動やボランティア活動には多くの生徒が参加しており、その意義や目的がよく理解できている。しかし、活動に参加し満足できたと思っている生徒の割合が低いので、改善が必要である。	<ul style="list-style-type: none">・感染症を広めないよう慎重な行動をとるようになったことが、皆勤率や出席率の低下の原因と考えられる。感染症の予防を徹底するとともに、生徒の基本的な生活習慣の確立を図り、地域から信頼される人材育成に努めたい。・ICTを有効活用した情報活用能力や問題発見・解決能力の育成を目指した教育活動の推進により、授業への意欲と理解力向上につながっている。・今後も地域社会から学び、魅力を知り、地域社会に活力を与える人材の育成に努めていきたい。・校内での携帯電話使用上の注意、身だしなみ指導や挨拶等の重要性を進路指導と結び付けて理解させ、主体的に取り組める生徒を増やしたい。・地域の人からご指導をいただくこともある。安全教育を推進し、命の大切さを理解し自らの意志でヘルメットを着用し行動できる生徒の育成に努めたい。・担当教員が、年度当初に清掃手順をしっかりと指導した上で、教職員全員で取り組んでいきたい。・今後も図書館運営に工夫を凝らすなど、生徒が図書館を頻りに利用できるような取組を進めていきたい。・事前・事後指導にも力を入れ、活動の成果や生徒の充実感が得られるように取り組んできた。生徒が充実感や達成感を持つような活動を目指したい。

<p>2 学校運営への提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時には体育館が避難所になっているが、鍵等の管理や避難所開設時に おける学校の果たす役割を示す必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所開設時の学校の果たす役割については、危機管理マニュアルの見直しを図 ったり行政機関と連携したりしながら、 確認作業を進めたい。
---	---

定時制

評 価 ・ 提 言 等	提言等に対する改善方策等
<p>今年度の最終評価について</p> <p>(1) 教科指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、全生徒が各種検定試験に挑戦できたことは、商業高校 として素晴らしいことである。なかには多種目1級に合格している生徒も いる。 ・漢字テストへの取組が昨年度より数値を落としている。対策、改善をお願 いしたい。 <p>(2) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会や各種レクリエーションなどを積極的に行っている様子であり、生 徒の関心や意欲、満足度も高いようである。 <p>(3) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本年度、退学者は0人で、大きな事故もなくよかった。一方で、欠席日数 が多い生徒が増加している。生徒が休まず登校する学校作りをお願いした い。 <p>(4) 保護者連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページが定期的に更新されており、生徒の学校での様子がよく伝わ ってくる。今後も情報発信に努めていただきたい。行事等に参加する保護 者が少ないので改善をお願いしたい。 <p>(5) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の生徒に寄り添って指導されている。進路決定して卒業できるよう指 導をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は検定試験合格への意欲が高い。今 後も個別最適な指導を心がけ、生徒の意 欲・能力を引き出していきたい。 ・数値を落とした要因の一つに欠席生徒が 増加したことが挙げられる。出席を促す とともに粘り強く指導していきたい。 ・生徒会が中心となって学校行事を企画運 営していく流れが本年度も継続できた。 今後も生徒の主体性を尊重しながら個々 に応じた行事等を実施していきたい。 ・安全、安心な学校づくりを推し進めてい きたい。生徒同士や生徒と教員のコミュ ニケーションを取り合いながら登校しや すい雰囲気作りを進めていきたい。 ・今後もホームページでは学校活動の様子 等を発信していきたい。保護者との連携 を密にし、行事等の実施前に情報を伝え ていきたい。 ・本年度は卒業生2名ともに進路決定でき た。今後も個人面談の時間、回数の機会 を増やし、各学年に応じた進路指導に努 めたい。個別最適な進路指導を全教職員 で連携して行っていきたい。